

大空衛

第76号
(新春号)



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 会長 太田 隆 …… 1	講習会を開催……………24
新年交礼会開催…………… 2	青年部会 研修会実施……………25
日空衛 第21回全国会議開催 …… 3	4団体協議会を開催 ……26
平成26年度 安全衛生大会開催 …… 5	第41回野球大会を開催……………28
第6回配管技能コンテスト開催 …… 8	大空会ゴルフ大会を開催……………33
配管技能コンテスト 講評 ……10	ボウリング大会を開催……………34
配管技能コンテストに参加して (高校生4人) ……12	告知板 (賛助会員募集・日赤から表彰) ……35
技能五輪大会報告……………16	基礎知識研修会受講ガイド……………36
技能五輪選手 東大阪市長表敬訪問 ……20	年賀ご挨拶 (会員・賛助会員一同) ……38
平成26年度 安全パトロール実施 ……21	編集後記……………40
官公庁との懇談会……………24	

(表紙写真)

中之島フェスティバルタワー (大阪市北区中之島)

芸術性の高い演奏会にふさわしいコンサートホールがなかった昭和 30 年代初期。国際的なコンサート施設を大阪にと、昭和 33 年春、新朝日ビル内にフェスティバルホールが完成した。あらゆるジャンルのアーティスト・ファンから愛されて半世紀。老朽化により建て替えられることになり、平成 24 年 12 月、超高層ビルとして生まれ変わった「中之島フェスティバルタワー」の中で 2 代目フェスティバルホールが開館した。

タワーの建設工事では座席数 2700 のホールの上にセンターコア方式の超高層オフィスを積み上げるため高い構造性能の確保が課題であった。高層階の荷重をホール外周部に伝達させることで巨大空間を確保する「巨大トラス」と中層・高層階との境界に免震層を設ける「中間層免震構造」を組み合わせることで実現したという。川に挟まれた中之島の地の利を活かした「河川水利用空調システム」が快適空間を支えている。



新 年 の ご 挨拶

会 長 太 田 隆

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平成 27 年の新春を健やかに
お迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、日本経済は、消費増税の影響などでややかげりが見えるものの、緩やかな回
復基調が続いています。更に、年末の衆議院選挙で政権与党が圧勝し、デフレ脱却・
経済再生に向け新たな第一歩を踏み出しました。経済団体も政府の経済施策に全面的
協力との姿勢であり、今年こそ本格的な景気回復が実現できるよう強く期待するもの
です。

空調衛生工事業を取り巻く環境も、アベノミクスの下での積極的な公共投資に加え、
民間投資も堅調に推移していることから、一時期に比べ改善されている状況にありま
す。一方、労務費の高騰や人手不足の課題が顕在化しております。この人材の育成・
確保は、建設業界にとって中長期的に大きな課題です。

他方、空気調和衛生工事業協会の使命であります、省エネ・CO₂削減などによる『低
炭素社会づくり』に関しましては、更に技術の研鑽を図り、積極的に取り組んでまい
ります。

昨年『担い手三法』といわれる品質確保促進法などの改正法が閣議決定されました。
基本方針では、発注者の責務として、担い手育成・確保のための適正な利潤が確保で
きる予定価格の設定、ダンピング受注の防止、計画的な発注、適正な工期設定が定め
られました。また、受注者の責務として、技術者、技能者の育成・確保や賃金、安全
衛生等の労働環境の改善、社会保険などへの加入徹底が定められております。

当協会として、行政に対して、適正価格・適正工期での発注を強く求めてまいりま
すと共に、関連団体との連携、配管技能コンテストなど様々な協会活動を通じて、熟
練技能者、後継者の育成、技術者の育成、労働環境の改善に尽力してまいります。

最後になりましたが、今後とも協会活動を活性化し、設備工事業界の更なる発展の
ため、会員・賛助会員のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄並
びに皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成27年

新年交礼会開催 未年スタート



年頭の挨拶を述べる太田会長



久保田様が来賓挨拶

平成27年新年交礼会は、1月8日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で近畿各府県空衛協会並びに関係諸団体からの多くのご来賓をお迎えし総勢約300名が参集して開催しました。

太田隆会長は年頭挨拶で、空調衛生工事業を取り巻く環境は改善されているとしながらも労務費の高騰や人手不足が顕在化している現状を指摘するとともに、昨年『担い手三法』といわれる品質確保促進法などの改正法の基本方針が閣議決定されたことに触れ、「行政に対して適正価格・適正工期での発注を強く求めていくと同時に、配管技能コンテストなどの活動を通じて熟練技能者、後継者の育成、技術者の育成、労働環境の改善に尽力していく」と強調しました。

来賓からは西日本建設業保証の取締役大阪支店長・久保田泰一郎様が挨拶に立ち、「近年、防災・減災への認識が高まり、社会生活を支える建設業の役割は一段と高まっている。若者が魅力ある業界へと進んでいくことを信じて、新たな抱負をもってスタートしよう」と述べました。

城口俊雄副会長の発声で乾杯したあと、年賀の挨拶を交わし合いました。賑やかな交歓が繰り広げられ、近藤徹副会長の閉会の辞で交礼会を終えました。



新年の門出を祝って乾杯



年賀挨拶を交わしながら和やかに交歓



閉会の辞を述べる近藤副会長

日空衛 第21回全国会議開催

「コンプライアンス徹底」行動宣言決議



円内は挨拶する野村会長

日本空調衛生工事業協会（日空衛、会長野村春紀氏）の第21回全国会議が10月23日に名古屋市で開催され、業界の積年の課題である「空調衛生工事業の独自性の確立」へ向けて力を結集していくことを再確認するとともに、コンプライアンスの徹底に向けた行動宣言を決議した。

会議には都道府県単位の空調衛生工事業団体から役員を中心に約330名が名古屋城近くのホテル「ウェスティンナゴヤキャッスル」に参集。最初に、福和伸夫・名古屋大減災連携研究センター長・教授が「過去に学び現代を点検し将来の地震

災害に備える」と題して基調講演した。福和教授は「東日本大震災による福島第1原発事故をみると、その前の中越地震の反省が生かされているとはいえない」と述べるとともに、名古屋市内をはじめ大都市の主要な建築物が脆弱な地盤の上に建っている現状を指摘し、「現在の建築基準法や耐震基準より厳しい基準が必要だ。土地利用を間違えると日本はだめになる」と警鐘を鳴らした。

このあと、全国会議に入り、挨拶に立った野村会長は空調衛生工事業を取り巻く情勢について「アベノミクスのもとでの積極的な公共投資に加え、民間投資も堅調に推移

していることから一時期に比べ相当程度改善してきている」としながらも、建設業界で労務費の高騰や人手不足の課題が顕在していることに触れ、9月に設置した部門横断的な人材確保・育成委員会を中心に人材確保に向け本格的に取り組む決意を示した。さらに、野



名古屋大・福和教授が基調講演



来賓挨拶する八鍬・中部地方整備局長

村会長は「人手不足に伴い、建築工事全体の後工程を担う空調衛生工事業は躯体工事の工期遅延のしわ寄せを受けるケースが多くなっている。また、発注者側の技術者不足や入札不調・下落の発生が、われわれが求めてきた直接発注・分離発注に逆行する動きにつながるなど懸念すべき状況が生まれてきており、空調衛生工事への理解を一層求めていかなければならない」と強調した。

次いで、国土交通省中部地方整備局の八鍬隆局長が来賓挨拶に立ち、「国土交通省でも技術者・技能者不足へ多角的な取り組みを進めるとともに、ダンピング防止、適正な工期確保、インフラ設備に全力をあげる。建物の省エネをはじめ、低炭素社会実現に向け空調衛生工事業界への期待は大きい」と激励した。

このあと、2014年に一部会員が独占禁止法違反で起訴・有罪判決を受けたコンプライアンス違反事案の反省に立ち、日空衛・企業コンプライアンス委員会の是常博・副委員長が「コンプライアンスの徹底に向けた行動宣言案」を提議し満場一致で同案を決議した。行動宣言では「法令の遵守を徹底し、公正・適正な事業活動を行う。工事入札に際しては刑法・独占禁止法に違反して公正な競争を阻害する行為は一切行わない」とし、「5つの行動計画に沿ってコンプライアンスの徹底を推進する」とした。



全国から約 330 人が参集



各種の事例発表が行われた

行動計画では、「独占禁止法遵守マニュアル作成の手引き」を14年度末までに作成し会員に配布して、それぞれの企業の実情に合わせた「マニュアル」づくりの参考に供することとした。また、「独占禁止法遵守カード」を作成・配布し、このカードを常時携帯することによってコンプライアンス意識の徹底を図る。さらに、日空衛ホームページから会員の取り組み情報などを発信するほか、講習会・研修会の実施やコンプライアンス強化月間なども設定することを申し合わせた。

このあと、2つの事例発表が行われ、まず、日空衛東海支部からゼネラルヒートポンプ工業の谷藤浩二取締役が「再生可能エネルギー利用ヒートポンプ」について事例発表。同社はヒートポンプの専門メーカーで、地中熱・地下熱・温水排湯・下水熱などいわゆる「地下熱」を利用した各種のヒートポンプシステムを全国的に数多く納入しており、谷藤氏はさまざまな事例をあげて利用実態を紹介した。

2つ目の事例発表は、日空衛生産システム委員会から阿部正樹主査が「リスクアセスメントのための災害事例集」について説明した。この「災害事例集」は現場の労働災害を防止するためのツールで、分かりやすいイラストで実際の災害1事例をA4判ワンシートにまとめ、全88例を集めてリスクアセスメントを実施しやすいようにする。作成・配布は15年4月をめどとした。

安全衛生大会を開催



平成26年度安全衛生大会を10月1日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全講和を聴講し安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は、関係官庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし、合わせて約160名が出席。最初に、業界でこの1年間に不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげご冥福をお祈りしました。

冒頭挨拶に立った太田隆会長は、ご来賓に対し日頃のご支援に感謝の言葉を述べるとともに、「建設業界は投資効果により活況を呈していますが、反面、資機材の高騰、技能者不足、労務費の高騰という状況が顕著に表れ、建設工事の円滑な推進に大きな課題となっています。春には品確法・建設業法・入札契約法のいわゆる建設三法が改正され、建設業の担い手確保に向け本格的な取り組みがスタートし、われわれもそれに向けて努力していきます」と述べました。さらに、太田会



挨拶する太田会長

長は、建設業における労働災害は長期的に減少している中、平成26年度においては7月時点で前年度を上回るペースとなっており、その原因の一つとして技能工不足による熟練技能者不足を指摘し、「このような状況下、経営トップから現場管理者・労働者まで一人ひとりが安全基準や作業手順の基本ルールを守ることが重要です。一過性の



「安全第一」の重要性を訴える高田様



安全衛生優良事業所として25社を表彰

指導に終わらず、粘り強く繰り返し教育の周知徹底を図り、労働者の安全を確保し、労働災害ゼロをめざしていく必要があります」と訴えました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の産業安全専門官・高田隆寿様から安全講話をいただきました。安全講話で高田様は、「1900年代初頭、米国の世界的な製鋼会社が経営方針を〈生産第一・品質第二・安全第三〉から〈安全第一（セーフティ・ファースト）〉・品質第二・生産第三に改めたのが〈安全衛生〉活動の最初といわれます。米国のこの会社は、安全優先へ大きく舵を切り替えたことにより、人間尊重の会社として優秀な人材が集結、図らずして生産性が向上していったといえます」と述べ、生産性向上の面からも安全第

一の考え方の大切さを強調されました。また、高田様は、今後、建設工事が本格化すれば一層人材の質の維持が課題になるとし、「人材確保に向けて建設産業を魅力あるものにするには安全管理が決め手になります」と述べるとともに、適正な作業機器の適正な使用方法、高齢作業者に配慮した作業条件づくりなどを要望しました。

このあと、安全衛生優良工事の表彰式に移り、河内康泰・安全労務専門委員が選考過程・結果を発表し、優良事業所25社を表彰しました。被表彰者代表が太田会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。このあと、参加者全員で『労働安全スローガン』『労働衛生スローガン』を斉唱して作業の安全を



全員でスローガンを斉唱し安全衛生を誓う

誓い、大会第1部を終了しました。

小休のあと、第2部として、元プロ野球選手で現プロ野球解説者の矢野燿大様による特別講演が行われました。現役時代、捕手として活躍された矢野様は「捕手目線のリーダー論～六つの要～」と題して講演。この中で矢野様は、大学進学時、プロへの道のり、プロ入り後の2軍落ちなどさまざまに場面で挫折や齟齬を味わった経験談を披露

し、指導者のあるべき姿を紹介しました。

最後に、若林尚史労務委員長が「労働災害の絶滅はわれわれの最大の責務であり、経験豊富な世代からしっかりと次世代へ引き継いでいきたい。安全パトロール事業などを通じて労働安全、労働衛生の向上に力を入れていきます」と述べ、大会の幕を閉じました。

さまざまな指導者の考え方を紹介する矢野様



閉会の辞で安全を呼びかける若林労務委員長

表彰会社名 (25社)

㈱朝日工業社大阪支社
㈱クドウエンジニアリング
敷島煖房工業(株)
大成設備(株)近畿支店
日比谷総合設備(株)大阪支店
㈱マサキ設備
若林設備工業(株)

浦安工業(株)大阪支店
斎久工業(株)大阪支社
新日本空調(株)大阪支店
ダイダン(株)大阪本社
㈱不二設備工業所
丸 住 (株)

鳳 工 業 (株)
三機工業(株)関西支社
㈱ 精 研
高砂熱学工業(株)大阪支店
不二熱学工業(株)
美和設備工業(株)

九 櫻 設 備 工 業 (株)
三 神 工 業 (株) 大 阪 支 店
ダ イ ク ウ (株)
㈱ 日 設 関 西 支 店
㈱ 前 田 商 会
柳 生 設 備 (株)

第6回配管技能コンテスト開催

41人が腕を競う

高校の部 上林 隼君が優勝

一般の部 横谷剛司氏が制す



当協会主催の第6回配管技能コンテストは8月23日(土)に東大阪市の大阪府立東大阪高等職業技術専門校(ものづくりカレッジ)で開催しました。コンテストは、次代の優秀な技能者の確保・育成をめざし開催しているもので、中尾弘昭理事をコンテストの実行委員長、田辺宣孝理事と布施工科高校・小倉一浩教諭(審査委員長)を副委員長とし、実行委員と青年部で構成する実行委員会が運営に当たりました。また、布施工科高校と東住吉総合高校の多くの先生方が審査委員・審査補

佐委員としてバックアップしていただき、ものづくりカレッジや関連団体の関西配管工事業協同組合も会場設営などで協力をいただきました。

前回に続き、高校の部優勝者には大阪府知事賞が、一般の部優勝者には大阪府職業能力開発協会会長賞が授与されました。

開会式で挨拶に立った太田隆会長は、参加選手と運営関係者にお礼の言葉を述べるとともに、「建設業界では市場の好転による人手不足から工事工程の遅れが顕在化しています。また、今年上



高校の部優勝
上林君(左)



一般の部優勝・横谷氏(左)



水圧テスト/サイズ審査のもよう



高校の部上位入賞者(前列)



一般の部上位入賞者(前列)

上位入賞者は次の通り（敬称略）。

【高校生の部】

- 優勝 上林 隼（彦根工業高校3年）
- 準優勝 西川 喜芳（布施工科高校3年）
- 3位 堀野 依武（布施工科高校2年）
- 4位 久保田瑞穂（布施工科高校3年）
- 5位 清水 俊太（布施工科高校2年）

半期には、技能力不足による労働災害が多発しており、技能力向上が急務となっています。建設業を現場で支えるのは熟練技能工の皆さんであり、技能工の育成、後継者の育成を目的に始めたこの配管技能コンテストをさらに充実・加速させたいと考えています。さらに、高校の部では、本年11月に愛知県で開催される技能五輪全国大会に前回コンテスト参加者の中から布施工科高校の3人が出場することになりました。本日参加の高校生の皆さんは次なるステップアップとして技能五輪全国大会出場へチャレンジしていただきたい。全員が持てる力を十分発揮され素晴らしい作品ができあがることを期待しています」と激励を込めて挨拶しました。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者23人（一般の部）、建築設備関連の学科を履修中の布施工科高校、東住吉総合高校、彦根工業高

【一般の部】

- 優勝 横谷 剛司（株藤井設備）
- 準優勝 清水 豊（東和管工株）
- 3位 藤田 薫（株藤尾設備工業所）
- 4位 田面 宏一（三和工業株）
- 5位 山中 邦裕（有山中設備）

校の生徒18人（高校の部）の合わせて41人が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベルの課題作品制作（制限時間3時間）に、高校生は同3級レベルの課題作品制作（2時間30分）に挑戦しました。

作品はサイズ誤差、出来映え、水圧試験による漏れ検査などで厳密に審査され、一般の部では藤井設備の横谷剛司氏が優勝、準優勝は東和管工の清水豊氏が獲得しました。高校の部では彦根工業高校の上林隼君が優勝し、同高校は4回目のコンテスト参加で初めて優勝者を出しました。準優勝は布施工科高校の西川喜芳君でした。また、久保田瑞穂さん（布施工科高校3年）が女子選手で初めて4位入賞を果たしました。

高校の部表彰式で小倉審査委員長は「上位に入賞した選手の出来栄は例年以上にハイレベルでした」と審査講評しました。表彰式に出席された

大阪府商工労働部人材育成課課長補佐 瀬戸山貴志様は、第6回を迎えるコンテストを称賛するとともに、「高校生の皆さんが一所懸命に取り組んでいる姿をみて、日頃、高校の先生方が熱心に指導されている賜だと感心しました。残念ながら実力を発揮できなかった人もこの貴重な体験を生かしてください」と挨拶されました。

引き続き表彰に移り、瀬戸山様から優勝者に大阪府知事賞及びカップ、記念品が、また、中尾実行委員長から準優勝～5位の入賞者に賞状やカップ、記念品が手渡されました。布施工科高校の植田篤司校長は、表彰式で競技者をねぎらい「ライバルや大先輩たちと切磋琢磨することは自分を成長させてくれます。また、技術、技能を活用することは社会経済活動そのもので、これから携わっ

ていく社会にも繋がってきます。社会インフラの根幹を支えているのは建設技能者、技術者であり、皆さんも重要な人材になってほしい」と述べました。

一般の部の表彰式で小倉審査委員長は「今回は7人の方が水圧試験で水漏れをしてしまい、少し残念でしたが、優勝された選手は寸法の減点が1、出来栄の減点はなく、ずば抜けて優秀でした」と講評しました。田辺実行副委員長から上位5人に賞状、カップ、賞金が贈られました。

協会の技術・労務担当の白木博之副会長は閉会挨拶で「建設技能者の不足が深刻な問題となっています。このコンテストを通じて技能者の育成に注力していきます」と述べるとともに、コンテストの運営に携わった関係者にお礼を述べました。

コンテスト審査講評



小倉 一浩 審査委員長
(布施工科高校建築設備系)

一般の部

第6回配管技能コンテストが開催され、審査委員長を仰せつかり、無事終了しましたことを、大空衛の役員の方々、設営・買出し・駐車番など多方面でご尽力いただいた青年部会の皆様、またご関係の皆様にお礼申し上げます。今回も上位入賞の方々は、優れた1級技能士であることを、明らかにする方々でした。1級技能検定実技試験では見ることでできない、ハイレベルの作品が多く、今回も減点数がとても少ない方が多かったです。

特に作品が完成した方21名の中で水圧試験を

する前には、12名(57.1%)の基準点が一桁でした。「昨年は23名中3名(13%)、そのまま優勝から3位」。優勝者の減点数は1点で、寸法精度Ⅱは31mmでした。しかし、基準点が一桁の方の中で6名が水圧試験で漏れがあったことは、大変残念でした。今回も僅差判定であり、準優勝と3位の差は寸法精度Ⅱの小差であり、入賞の4位、5位と6位は基準点同点で寸法精度Ⅰの1点差で順位が決まりました。以下8位、9位までも同様に基準点が同点でした。

また、水漏れ失格者7名、欠席者3名、残念ながら未完成であった方2名を除く14位までの順位付けが今回の結果でした。

今回特に感じたことに、前述したように基準点の減点が少なく、銅管の接続も綺麗な方々が水漏れしました。今回も昨年同様に多くの参加者が零れたはんだをふき取り、綺麗な銅管を見せる技術を披露していただき、高校生に良いものを見せていただきました。水漏れ箇所は、塩ビ管の接着剤忘れ、塩ビバルソケと銅管・銅管の接合部分から



の漏れが大半でした。一般の部に参加した高校生も作品を完成させ、水圧試験にも合格し順位がついたことは大変誇らしいことでありました。

第6回を無事終了し今回も多くの方にご参加いただき、一般の部に参加していただいた方々に改めてお礼申し上げます。高校生と同じ場所で競技し高校生に良い刺激を与えてくださり、ありがとうございました。

毎年のことですが、このコンテスト優勝者もしくは入賞者の「誉れ」が業界に浸透することを願っています。前回に続き、今回の優勝者には、「大阪府職業能力開発協会会長賞」が授与されたことは、誠に嬉しく思いますとともに、大阪空気調和衛生工業協会の皆様の熱意の結晶だと強く感じました。今後も微力ながらお手伝いできればと感じました。

————— 高校の部 —————

前回はじめて全員水漏れなしでしたが、今回は2名が水漏れで失格となりました。両名とも寸法誤差が大きく寸法精度でも減点が大きかった。欠席者はなく、高校生として参加者が競い、16位まで順位がつきました。高校生には、大空衛、滋空衛の両協会からのご支援があり、練習回数により作品の優劣がついたように思われます。技能検定で減点のポイントとなる寸法精度Ⅰが0点の生徒が5名（昨年8名、1点の減点が4名）。この5人の中で、できばえと合わせて寸法精度Ⅱの僅差で順位がつきました。

3級技能検定にない銅管についても、各学校での練習の成果が見られ、ろう付けの垂れる程度も少ない生徒が多く見栄えも綺麗になってきました。

優勝者から上位5名は基準点が1点（優勝から3

位）、2点（4位、5位）でした。できばえの減点が1点で並んでいた3人は、寸法精度Ⅱの差で順位がつきました。また、基準点2点の2人も同様に寸法精度Ⅱの僅差によって順位が決定しました。以下、採点基準に従って6位、7位が決定しました。基準点7点に3名が入り、それぞれ寸法精度Ⅱが10mm、11mm、12mmと1mm違いで順位が決定しました。12位、13位も寸法精度Ⅱの1mm差で順位が決定しました。13位までが基準点が一桁でした。（昨年は寸法間違いをした生徒1名を除き、18名が基準点一桁であった）

また、今回のできばえの減点では、塩ビバルソケと銅管アダプターの接合部において塩ビバルソケを「なめる」生徒が多く、その箇所が出来が目につきました。工具の二丁使いなど練習不足・経験不足が否めない結果でもありました。

全員が参加し、時間内に完成することができたことは素晴らしい結果でした。高校生枠を確保してくださった、大会主催者の方々に心よりお礼申し上げます。

高校生には、空衛協会さまより職人さんを派遣いただき、事前練習会を持ちました。今回の作品で塩ビエルボとバルソケの”かっつけ”箇所もポイントでした。接着剤で汚すことなく、綺麗な作品にするポイントの一つでありました。この個所はどうなっているのか？ 分からなかった生徒にとっては、専門工事の職人さんからの指導はとても有意義でありました。練習作品で自信を持った生徒は、ほとんど減点のない作品を仕上げることでできていました。また、学校での練習と大会で実力を発揮する難しさを学んだと思います。

この経験を生かし、建築設備業界で技術者・技能者として、世の中の役に立つ人に成長することを願っております。ありがとうございました。

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 優 勝 ☆☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校
建設科3年 上林 隼



僕は今回の配管コンテストに参加するに当たり、何度も練習をしました。それは、学校であったり父の会社であったり、夏の暑い中、コンテストに参加する仲間たちと頑張ってきました。この大会は、大阪空気調和衛生工業協会が主催していただくもので、僕たち設備を学ぶ生徒が参加できる大会でした。いままでにも彦根工高の先輩たちも参加し、戦績は準優勝が最高でした。

僕も「優勝」を目指して練習してきました。その練習に付き合っ、朝から学校に来て指導していただいた講師の先生や学校の先生方、そして仕事が忙しいのに練習を見てくれた父など、何度も練習できるように材料を支給していただいた滋賀県空調衛生設備工業協会さまなど、たくさんの方々にご支援いただき、応援していただいて本当に感謝しています。

僕はその甲斐があって、優勝することができました。僕は高校を卒業したら、就職しようと決めています。今回練習してきた器具・工具の使い方や注意点、作業前の心得など教えてい

ただいたことを仕事で少しでも活かしていきたいと思っています。

改めて、僕達を支えて下さった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思っています。本当にありがとうございました。

春からは、滋賀県東近江市にある株式会社和晃さまでお世話になります。空調・換気設備工事を中心に、消防防災設備、下水道工事、土木、建築工事もできる会社です。早く職場の雰囲気慣れ、頑張っていきたいです。春から働くのが楽しみです。



作業中の上林選手

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 準優勝 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系
設備システム専科3年 西川 喜芳



私は、1年生の時に配管技能検定の3級を受検し、合格しました。2年生で設備システム専科に進み、昨年も配管技能コンテストに出場する機会を得ました。その結果は残念ながら入賞することはできず、友達が入賞したので喜ばしく思いながらも、悔しい思いもしました。2年生の終わりには2級技能検定に挑戦し、同時に技能五輪大阪大会にも参加しました。

今回の配管技能コンテストでは、校内では優勝候補一番手として先生方から期待を集めるまでになりました。その分「優勝しろ！」のプレッシャーもとても強く掛けられ嫌になりました。(笑)

鋼管・塩ビ管については自信を持って取り組めるようになりました。残りの銅管についても練習を重ね、綺麗な接続ができるようになりました。練習の当初は寸法誤差も大きく、銅管のろう付けから水漏れすることもありました。私たち高校生には、主催者である大阪空気調和衛生工業協会さまより、ベテランの配管指導者を派遣していただきました。講師で来校いただいたのは玉川さんです。鋼管、塩ビ管、銅管とそれぞれの管の特徴から接合部の注意点まで細かく丁寧にという指導内容で、よく分かるように教えていただきました。

当日の開会式では、「愛知県での技能五輪全国大会に出場する選手である」ことを、ご紹介して

いただきましたので、少し緊張しました。プレッシャーを強く感じ、不安感もありましたが、開始前に友達が声をかけてくれリラックスできました。緊張感も適度なものとなり、作業中も周りがよく見えていました。

その結果、自分なりにミスなく良い作品として完成することができました。

時間も有効に使い、細部まで細かく綺麗に仕上げ上手くできました。

優勝は逃がしましたが、準優勝でき、指導していただいた先生方、暑い中指導に来て下さった玉川さん、共に汗を流し練習した友達のお陰だと思います。

そして何より、練習中上手くいなくて不機嫌で帰宅しても、励まし応援してくれた家族のお陰だと思います。当日も応援に来てくれた母親や妹たちに感謝しています。夏休みの暑い中、練習してよかったと思いました。

次は11月下旬に技能五輪全国大会があります。しっかり練習してよい結果を残したいです。

4月からは、TAKイーヴァックさまでお世話になります。竹中工務店のグループ企業の一つで建物の快適環境を作る会社です。建築設備工事の技術者として頑張っていきたいです。

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 第3位 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校

機械系2年 堀野 依武



私が配管を習ったのは1年生の時の工業基礎の授業でした。その時は1年生になりたてで初めての実習ということもあり、とても緊張していました。しかし、実習担当の先生はとても優しく接してくださり、私も配管の楽しさや魅力、そして奥深さの先端だけでしたが、味わうことができました。この楽しいと思える「配管」をただ楽しむだけでは面白くないと思い、インターネットで資格があるか調べてみると、技能検定というものがあることがわかり、これなら楽しく配管をやりながら資格取得にもなると一石二鳥の思いで案内が発表されるのを待っていました。そして見事、今年の春、3級配管技能検定に合格し、3級配管技能士の資格を取ることができました。

コンテストに向けての練習は夏休みを使って5回ぐらい行いました。毎回大体1時間ぐらいで仕上げていたのでは寸法だけだなど思っていて、それにコンテストで使われる「銅管」のはんだ付けですが、これは春休みに行われた練習会に参加したおかげで3カ月ぐらい触ってなくても体が覚えていて難なく作品を完成することができました。

当日、いつも通りにすればできると自分に言い聞かせていましたが、開会式の時に緊張してしまい、作業を開始してから数分は手が震え、心臓の鼓動がとても速かったのを覚えています。当日にミスをするわけにはいかないので、とりあえず深呼吸をして気持ちを落ち着け、いつものペースに自分を誘導していきました。そうしたら、いつもより早く仕上がり自分でも驚きました。

それからお昼を食べて、いよいよ表彰式になりました。ここでも部屋の中に入った時から心臓がバクバクしていました。しかし、第3位で自分の名前が呼ばれるとは思いませんでした。なぜならその前に採点基準の説明をされ、上位4名は寸法の誤差は0といわれた瞬間、私は入賞しているとは思いませんでした。ですが入賞できたことはとてもうれしく、そして誇りに思います。しかし、私はまだここでは終わるわけではありません。来年には2級配管技能検定合格、配管技能コンテストで優勝、そして技能五輪に出るという夢を追いかけるためにいろんなことを頑張っていきたいと思います。

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 第4位 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系
設備システム専科3年 久保田 瑞穂



私は、昨年も配管技能コンテストに参加させていただきました。しかし、5位までに入賞をすることができませんでした。だから「今年は必ず入賞してやろう!」と強く決意し、夏休みを削ってでも練習をいっぱいしました。練習をいっぱいすることは体力的にも大変ですが、練習費用を心配する先生の「もう、ええんとちがうか?」の声にもめげず(笑)精神力も鍛えられるものでした。

コンテストに参加する高校生には、大空衛さまより作品製作に必要な材料供給もあり、また実際に実技指導に来ていただいた玉川さんからも材料提供をいただき、何度も何度も時間の許す限り、気持ちの続く限り練習をすることができました。

2年生の後期に配管技能検定2級を取り、今年度の技能五輪全国大会に代表選手と出場できることになりましたが、数か月のブランクは大きく、練習を始めた最初のころは、全然うまくできませんでした。寸法が5mmずれたり、銅管の作業がうまくいかず水漏れしたりしました。練習では最後まで納得のいく作品はできませんでした。何

度も練習したことで、知らず知らずのうちに作品を作る手順が身についていたようでした。

当日も「技能五輪へ行きます、工科高校生女子生徒の初出場」と紹介していただき、緊張しました。当日も作品製作手順を考えすぎることもあり、色々ミスがあったかなあと、期待できない気持ちで表彰式を迎えました。名前を呼ばれた時は、とてもビックリし、言葉も出ないくらい大変うれしかったです。11月下旬には大阪府代表として技能五輪全国大会に出させていただきます。その時には、入賞したいです。五輪での入賞は簡単ではないことを理解していますので、練習をいっぱいして、大阪で応援して下さった皆様に良い結果を報告できるように頑張りたいと思っています。

4月からは、レックコンストラクションでお世話になります。女子の少ない業界ですが、元気いっぱい働きますので、皆様見かけたら声をかけてください。よろしくお願いいたします。

平成26年度 第52回技能五輪全国大会 参加報告（愛知県 豊橋総合体育館）

連続出場、女子工科生徒初！大阪府選手団に 配管職種で出場

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 小倉 一浩

1. はじめに

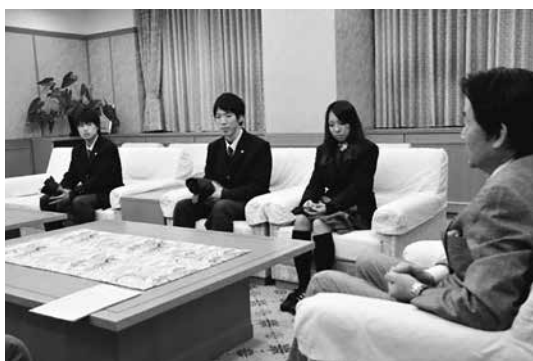
日頃よりお世話になっています、大阪空気調和衛生工業協会さまには、今回ご報告させていただく機会をいただき、改めてお礼申し上げます。

今年で6回目を迎えた貴協会主催の「配管技能コンテスト」も本校を含めた、関係高校にはしっかり根付き、生徒たちも上位入賞できることを楽しみにしています。「入賞記念品もすごくいいので……」

そんな中で、2年生の冬に配管技能士2級に合格し、大阪府五輪予選を通過した3名の本校生が、第52回技能五輪全国大会に大阪府の代表として競技してまいりました。

2. 全国大会に参加して

出発前には、大阪府選手団の激励会が咲洲庁舎で執り行われ、11月25日には本校所在地である東大阪市役所（野田市長）に市長表敬をさせていただく機会に恵まれ、生徒たちは技能五輪に参加する気持ちを高め、各々の思いと決意を語りました。



野田・東大阪市長に面会する3名
(左から辻本、西川、久保田)

11月27日に開催地である、愛知県豊橋市に向かいました。28日は午前中に準備・競技説明があり、午後は名古屋市内の愛知県立体育館で全体の開会式がありました。

11月29日の競技当日は早朝より会場に入り、開



いざ競技会場へ!(左から久保田、西川、辻本)

始の合図を迎えました。

クラスメートが記入した寄せ書きに見守られて競技をしました。午前中は、それまでの練習通りの成果を見せて、ほぼ予定通りのところまで、進みました。

昼食を取り、気持ちを引き締めて臨んだ3人でしたが、今年度新たに工夫された箇所到手こずりました。学校で洗面器の取付けや排水管ヘトラップを



競技する西川君

介して繋ぐことなども練習しましたが、緊張感もあり焦っていました。

また、20A銅管の45°エルボを使用しない課題に戻り、練習不足の銅管曲げに時間がかかりました。学校での練習と違い、1回限りの本選を体験できたことで、練習で発揮できていた自分の力を出すこと

が、如何に大変かを知ることができたようでした。

本校生の技能五輪への道のりは、1年生の時に技能検定3級を受検し、合格した生徒が2年生の時に技能検定2級を受けると同時に、『国競』として技能五輪大阪府予選にも参加することから始まります。実技、実技ペーパー試験をともに合格した者の中から、今回は、取り組み姿勢や競技への意欲関心の度合いを関係者で協議し、2年生の2級合格者4名の中から辻本君、西川君、久保田さんの3名が大阪府代表に決定しました。

技能五輪全国大会に連続出場を果たしましたが、まだまだ分からないことも多くありました。

3. まとめ

大阪にあるということで、貴協会のお陰をもちまして今年も就職先に恵まれました。昨年度と今年度(2学期末)の実績は、次のようになります。

=25年度=

卒業生 37名 学校紹介の就職 25名

建設系 23名+メーカー 2名

「施工管理技術 17名+専門工事技能 4名

+保守管理 2名」

=26年度=

在校生 38名 学校紹介の就職 27名

建設系 24名+メーカー 3名

「施工管理技術 20名+機器据付技術 1名+保守管理 3名」

学校では、今年度から「地域産業連携重点型校」になりました。機械系・電機系は東大阪、八尾地域に貢献することが重点目標ですが、建築設備系では大阪全体・関西圏を地域として捉え、技術者・技能者として世の中で役立つ人材を育む努力をしております。

技能検定や配管技能コンテストへの取り組みは、建築設備業界への第一歩として捉え、今後も継続してご支援をいただけますように、学校も努めてまいります。まだまだ、これからですが今後ともよろしくお願い致します。

出場3名の「技能五輪を終えて」

久保田 瑞穂：私は今回大阪府代表として職種「配管」の部で出場させていただきました。この大会で「私は多くの人に支えられているのだ」と分かりました。10月の中間テストも終わり、いよいよ本格的に技能五輪の練習が多くなると、毎週土曜日・日曜日にも仕事の都合を付けて、学校に指導に来ていただき、一から配管のことを教えてくださった”師匠”や、私が作品を造り上げるまでずっと帰るのを待って下さった先生達、小さな怪我でもとても心配してくれる両親。たくさんの人に支えられていたからこそ無事終わることができました、感謝の気持ちでいっぱいです。『応援♡ありがとうございました!』



会で「私は多くの人に支えられているのだ」と分かりました。10月の中間テストも終わり、いよいよ本格的に技能五輪の練習が多くなると、毎週土曜日・日曜日にも仕事の都合を付けて、学校に指導に来て

いただき、一から配管のことを教えてくださった”師匠”や、私が作品を造り上げるまでずっと帰るのを待って下さった先生達、小さな怪我でもとても心配してくれる両親。たくさんの人に支えられていたからこそ無事終わることができました、感謝の気持ちでいっぱいです。『応援♡ありがとうございました!』



私が実際に技能五輪大会を経験し感じたことは、まず最初の頃は楽しみの方が大きかったのですが、大会が近づいてくたびに不安が高まってきました。「ほんまに時間内にできるかなあ?」とか色々な消極的な感情が湧きでてきました。開会式の素晴らしさを見て、もっと不安が大きくなりました。この大会で私は良い結果を出せるのか?と不安な気持ちが大きくなって当日を迎えました。

しかし、負けてはならないと消極的な気持ちを打ち消し大会に臨みました。結果は一生懸命やって時間内に完成できましたが、わずかな水漏れ個所がありとても「悔しい」結果となってしまいました。しかもその水漏れ個所はもう少し時間があれば手直しできる場所だったので『とても後悔といった気持ちが残りました』。先生や周りの人たちからは「よく頑張った！」などといわれたけど、そんな声も水漏れをしていたので何も心に響きませんでした。もし、もう1回だけこの技能五輪に出場する機会があればぜひ出場して「メダル」を獲得したいです。後悔しない作品を作りたいです。

辻本 尚輝：僕が高校1年生の頃はこんな大きな大会があることも知らず、出場できるとも思って



いませんでした。昨年、本校の2人の先輩がこの大会に出場しました。1人は陸上部の先輩でもある田中さんで、昨年の8月に行われた『配管技能コンテスト』で優勝し、知事賞をいただいたすごい先輩です。そんな先輩が技能五輪に挑戦し、練習しているところを何度か見学させてもらいましたが、「とても自分にはできない」と思っていました。まず2級技能士の資格取得と同時に大阪府予選に出て、良い結果を残せば大阪府の代表になれると知っていましたので、頑張りました。田中先輩に続いて配管技能コンテストで優勝を狙っていましたが、周りの先生方の推薦もあり「一般の部」で出場させていただき、大変良い経験ができました。技能五輪が近づき本格的な練習が始まると、今までと違い思ったようにはいかないということを知りました。全然違うと落胆していた時に、田中先輩が仕事で忙しい中にもかかわらず、応援・指導に来てくれました。また田中さんのお父さんは配管の仕事をされており、先輩と一緒に指導に来てくださいました。その指導のお陰で全体の作業手

順も分かり、1人でも練習ができるようになりました。1人で練習を始めると、理解したつもりになっていても色々と言語の部分もたくさん出てきて何度も悩まされました。その都度夕方遅く、仕事帰りであっても田中先輩のお父さんがアドバイスをしてくれました。とても充実した練習ができました。始めたころには全然できなかった作品が、最後はかなり良い作品ができました。指導して下さった全ての方々に変感謝しています。そして技能五輪当日、「銅管の曲げ」の箇所が少し違うことに戸惑いながらも、銅管曲げ作業の仕方は同じなので何とかできました。しかし、焦りの気持ちのため、作業が少し荒っぽくなり銅管に歪を作ってしまった。思わぬ曲げ損じに正直諦めたい気持ちになりました。少し間を置き、「しくじった」気持ちを吹っ切ることができ『完成させる』ことを目標にしました。それまで緊張感から作業が慎重になり過ぎていましたが、吹っ切れてからは緊張感も緩み、少々作業が雑になってしまった感はありましたが、時間内に余裕を持って完成させることができました。でもやはり、あそこでもう少し丁寧に作業をして管に大きな歪を残さなければ、「上位を狙えたのかなあ」と思うと悔いが残りました。でも、完成した時の達成感はと

ても気持ちがよかったです。この大会は昨年先輩方が出場して道を作ってくれ、多くの先生方や布施工建築設備系を応援して下さった多くの方々のご支援があつてこそ自分も出場できたと思います。とても貴重なよい経験をさせてもらいました。来年も後輩たちに出場して頑張ってもらいたいと思っています。



ても気持ちがよかったです。この大会は昨年先輩方が出場して道を作ってくれ、多くの先生方や布施工建築設備系を応援して下さった多くの方々のご支援があつてこそ自分も出場できたと思います。とても貴重なよい経験をさせてもらいました。来年も後輩たちに出場して頑張ってもらいたいと思っています。

西川 喜芳：技能五輪を終え、たくさんの方を「学び」、たくさんの方を「感じ」ました。第一に周りの方々に支えてもらいたくさんの教えがあり、



本番で完成することができたと思います。配管技能検定 2 級を取得し、「技能五輪に出場したいです!」と言っていた時とは違い、いざ練習が始まってみるととても大変でとても辛く、精神的にも肉体的にも辛いことがたくさん

ありました。ですが、乗り越えられたのは家族、先生、友達の励ましがあったからだと思います。1 人では絶対にやり遂げることができなかつたと思います。同じクラスから出場した辻本と久保田がとても大きな存在でした。2 人にはとても感謝しています。分からないことがあれば教えてくれ、「もうやばい、しんどい」と 3 人で言っていた時もありましたが、お互いに支え合い何とか終わることができました。本番ではとても緊張し、思うように体が動きませんでした。とても時間が早く過ぎると感じ、焦りと不安でいっぱいでした。昼休憩の合間も、午後からのことを考えるのが精一杯で、食事の記憶も曖昧でした。1 人でいると今後の作品を仕上げる手順のことばかりで、久保田と辻本と話すことが唯一のリラックスできる瞬間でした。後半が始まり作業をしながら、無意識に入ってくる周りの競技者の作品の出来具合に、差が開く一方で不安な気持ちだけになりま

した。練習のときは、分からないところを話し合いながら進めていきましたが、本番では心細くなり、「この作業手順でよいか?」、「間に合う?」と思いつながら、次々に周りの競技者が「できました」と検査員に報告する声が余計に不安心を煽りました。正直「競技打ち切り時間、あと 10 分」と告げられた時には、泣きそうになりました。これまで教えてくれた先生、田中さん、池成さんの顔が浮かび、申し訳なく恥ずかしく思いました。「残り 5 分」と告げられ、「完成できない」と思いつながらも、最後まで作業し、残り時間数秒で何とか作業を終了し「できました」と検査員に報告することができました。最後まであきらめずに完成して本当にうれしかったです。水漏れ箇所もあり残念でしたが、3 人も完成できてよかったです。池成さんは直前練習では休日返上で朝から晩まで付き合っていたり、不足する練習材料を寄贈していただきました。さらに、現地にも応援に駆け付けていただきました。田中さんも土日祝日、平日の仕事帰りなど可能な限りの時間を私たちの練習のために費やして下さいました。お二人にはもとより、家族、先生、友達に感謝です。応援に来てくれた両親、祖父にもしっかりと「ありがとう」と伝えられて良かったです。もう 2 度とこんな体験は出来ないと思うので、本当に出場してよかつたと思います。やはりモノを作ることは達成感があり、やりがいがある。去年の先輩が教えてくれたように、『次の後輩にも繋げていかないといけない』と思いました。技能五輪出場という大切な思い出を大事にして来春からの社会人生を頑張っていきたいです。



競技を終えて (2 列目の左から 5 人目・西川君、6 人目・辻本君、7 人目・久保田さん)

東大阪市 市長室 表敬訪問

府立工科高校初の連続出場、女子生徒初出場！ 「配管職種」

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 小倉 一浩

配管技能検定の実施、配管技能コンテスト、そして技能五輪「配管職種」へのご支援など、全てにおいて、大阪空気調和衛生工業協会さまには日頃より大変お世話になっています。

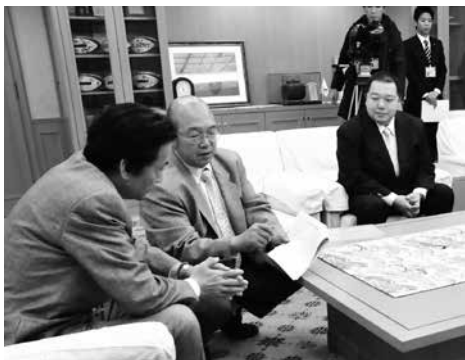
そのような本校の取り組みも昨日今日に軌道に乗ったわけではありません。



市長室で緊張した面持ちの3名
(左から辻本、西川、久保田)

平成 17 年 4 月から布施工科高校に設備ができましたが、平成 18 年度最初の 2 年生 4 名が 3 級の技能検定に臨み全滅したところから本校の「配管」作業への取り組みがスタートしました。

最近では 2 級合格者もより高いレ



市長に説明する (小倉、木下)

ベルで合格することができるようになり、昨年度「平成 25 年度」は大阪府職業能力開発促進大会で優秀な成績であったとして「賞状」をいただき、今年度「平成 26 年度」は同大会で「知事賞」を

いただくまでになりました。

貴協会にご指導、ご支援をいただきながら進めてきた”設備教育”を学校の所在地である東大阪市からも応援していただくことになり、今回、市長室を表敬訪問させていただくことになりました。大会を週末に控えた 11 月 25 日に東大阪役所（野田市長）に市長表敬訪問をさせていただきました。生徒たちは技能五輪に参加する気持ちを一層高め、各々の思いと決意を語りました。

西川：大阪代表としてしっかりとした作品を作ります。

久保田：初の女子高生として上位を目指します。

辻本：良い作品を完成させ東大阪市民としても結果報告ができるように頑張りたいです。

野田市長さんからは、「いつの時代でも日本は『ものづくり』が大切です。若い人たちが建設業に志を高く持ち進むことは頼もしい。応援しています」と激励の言葉をいただきました。



当初の緊張感も和み市長室での記念撮影
(左から久保田、西川、野田市長、辻本)

平成26年度 安全パトロールを実施

三機工業(株)関西支社 稲岡 栄治

学校法人 関西学院神戸三田キャンパス 理工学部学科増築計画作業所を巡回



北西側からの施工進捗状況

平成26年9月22日（月）、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会は平成26年度安全パトロールを別記のメンバーで実施しました。

安全パトロールは、当協会安全労務委員会行事の一環として工事現場の安全指導と、安全労務専門委員の総合安全研修を兼ねて行っています。



巡回メンバー(施工屋上階)

関西学院大学は平成26年9月に125周年を迎え、安全パトロールで巡回した関西学院神戸三田キャンパスは平成27年春の開校を目指し、既存敷地内に地上4階の新しい理工学部が誕生します。

当日、巡回に先立ち当社現場事務所において末広所長より工事の概要説明や現場工程、当日の作業内容と巡回ルートなどの説明を受けました。



巡回メンバー

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

◇安全労務委員

- 宮路 直人（株朝日工業社大阪支社）
- 河内 康泰（日比谷総合設備(株)大阪支店）
- 稲岡 栄治（三機工業(株)関西支社）
- 石田 容章（須賀工業(株)大阪支社）

◇協会事務局

- 清王 政志（専務理事）

巡回した作業所の工事概要

- 工事名称 学校法人関西学院神戸三田キャンパス 理工学部学科増築計画
○工期 平成25年11月1日～平成27年1月31日
○工事場所 兵庫県三田市学園2丁目1番
○建物概要 工種：新築 建物用途：大学
構造 鉄筋コンクリート造 階数・高さ 地上4階
建築面積 3,315.73 m² 延床面積 12,993.73 m²
- 発注者 学校法人関西学院
○設計監理 ㈱日本設計
○請負者 建築工事 ㈱大林組
空調・衛生工事 三機工業㈱
電気工事 ㈱きんでん



○空調設備工事概要

- 1) 熱源設備 (電気式) 空冷ヒートポンプマルチパッケージ
空冷ヒートポンプパッケージ
空冷直膨式ハーフトップ空調機
- 2) 空調設備 個別空調 電気式空冷ヒートポンプパッケージ
各ゾーン毎のマルチ系統を分割
単独系統は実験室空調と熱負荷の大きい部屋
室外機は屋上に設置
- 3) 換気設備 教室 全熱交換器
実験室 全熱交換器及びドラフトチャンバーにより実験用
排気
廊下より1次処理外気をファン及びパスにて給気
便所・倉庫 第3種換気
機械室・電気室 第1種換気 電気室はパッケージ空調機
併用
- 4) 実験機器 ドラフトチャンバー クリーンベンチ 安全キャビネット

○衛生設備工事概要

- 1) 給水設備 飲用水系統は受水槽(50t)より、加圧給水方式により供給
雑用水系統は地下ピット受水槽(30t)より、加圧給水方式により
実験冷却装置に供給し回収水を実験冷却水とトイレの洗浄水として再利用
- 2) 給湯設備 個別給湯方式
- 3) 排水設備 汚水排水と雑排水は分流方式実験排水は単独系統で地下ピット
貯留後、既設排水処理施設に接続
- 4) 都市ガス設備 実験装置と給湯器に供給
- 5) 特殊ガス設備 窒素ガス・アルゴン・圧縮空気を各実験装置に供給



巡回前に工事概要と経路の説明を受ける

当日の現場作業は、2階～3階にて空調ダクト・配管工事と衛生配管工事です。

安全巡回ルートは、最上階の4階屋上より、各階を順に下階へと実施しました。

2階～3階の研究室・教室の空調機器吊込並びに冷媒配管・ダクト工事と給排水配管を施工中で、高所作業車及び立ち馬による高所作業は、安全帯の完全使用により、墜落転落災害防止を確認しました。

2階に加工場並びに資材置場があり、区画・表示及び安全標識等、電動機械の点整備備状況を確認。整然と整理整頓ができており、電動工具の持込許可状況、工具本体の点検状況を確認し良好で



した。

1階に作業員詰所が設置されていました。

冷暖房設備を整備し照明も明るく、机などが整然と連なり清掃が行き届いていました。

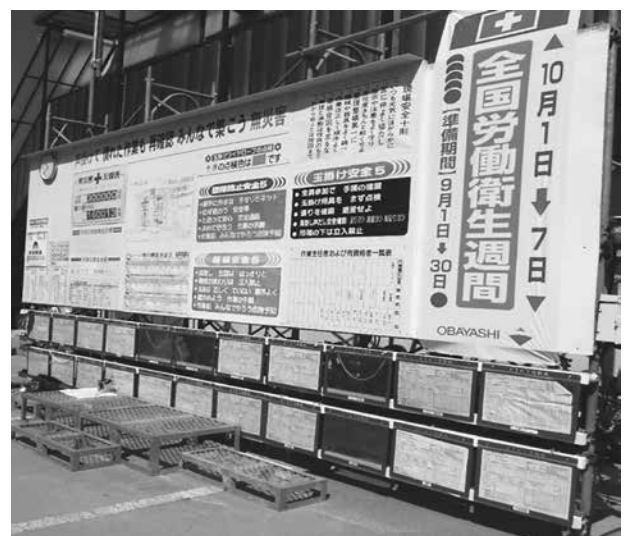
作業員への快適環境を重視されていることがよく伺えました。

平成27年1月の竣工に向けて、無事故・無災害で工事が完工されることを願ひましてパトロールを終えました。

今回の安全研修として、適切な模範となる作業所を巡回でき、メンバー全員が納得し知識向上に役立った安全パトロールでした。



各実験室内天井配管ダクト施工状況



事務所前 朝礼広場

官公庁との懇談会

講習会開催

大阪府住宅まちづくり部 公共建築室設備課 懇談会

(一社)大阪空気調和衛生工業協会は、大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会を開催しました。席上、入札制度、保険未加入対策等について意見交換がなされました。



日時 平成 26 年 11 月 17 日 (月) 14 時
場所 シティプラザ大阪 4 階 奏の間

出席者(敬称略)

大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課
田邊副理事、西村課長、
井谷課長補佐、中田課長補佐

大阪空気調和衛生工業協会

(副会長) 近藤 徹

(副会長) 城口俊雄

(副会長) 白木博之

経営委員会

(委員長) 塩谷眞富

(副委員長) 安原和利

(委員) 中井 誼

各委員会

(総務副委員長) 仲吉弘一

(広報委員長) 木村之彦

(労務委員長) 若林尚史

(事務局) 清王、井上

「社保未加入対策」などで講習会開催

協会は9月17日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で、社会保険未加入対策と省エネ補助金の活用をテーマに講習会を開催しました。

この講習会は、協会経営委員会の主催で開催されたもので、約60名が出席。はじめに経営委員長・塩谷眞富理事が「国土交通省は8月1日以降に発注する公共工事に対して一次業者が社会保険未加入業者であった場合、制裁金の徴収や指名停止とするなどペナルティを課すこととしており、公共工事の基本となる品確法(公共工事の品質確保の促進に関する法律)や入札契約法、建設業法の一部でも改正が行われている。協会ではこれらの変化に対応すべく、会員の皆様に必要な情報を発信することを心がけていく」と挨拶しました。



講習会では近畿地方整備局建設産業課課長補佐・白川信之様が「国土交通省直轄工事における社会保険等未加入対策」、ダイダン開発技術本部ソリューション課長・宮本俊也様が「公的補助金の種類と活用の留意点」と題して講義しました。

国交省直轄工事における社会保険等未加入対策については、現状と課題を紹介し、一問一答形式で事例を交えながら説明が行われ、品確法の改正点について説明が行われました。

公的補助金については、平成27年度経済産業省予算要求の各政策概要と省エネ補助金の種類と申請時の注意点などについて説明が行われました。

青年部会

「防災行政」テーマに研修会実施



協会の青年部会（会長草田有毅氏）は9月11日午後、大阪市中央区のエル・大阪(府立労働センター)で「防災行政動向」についての研修会を開催しました。

研修会では、国土交通省近畿地方整備局企画部防災課計画係長の吉村敏様が「最近の防災行政の動向について」と題して講演しました。南海トラフ巨大地震の発生が予想されているところから、同整備局など11の機関が参加し、104の機関が協力して、同巨大地震に対する具体的・実践的な応急活動計画と戦略的推進対策について平成26年4月、「近畿地方地域対策計画(第1版)」が取りまとめられました。吉村様は、この「計画」の概要、取り組みなどを紹介し、防災・減災のポイントを説明しました。

この中で吉村様は同整備局が取り組む主要な課題として以下の点を挙げました。

【経済成長を支える重要交通インフラの戦略的な整備】

- ◇ミッシングリンクの解消による広域道路ネットワークの構築
- ◇大阪湾周辺の環状道路ネットワークの整備
- ◇国際コンテナ戦略港湾「阪神港」におけるハード・ソフト一体となった施策

【南海トラフ巨大地震への対応と防災・減災対策】

- ◇南海トラフ巨大地震に対する応急活動と戦略的に推進する対策の計画策定

- ◇水害・土砂災害対策等の防災・減災対策

【社会資本の老朽化に対応した戦略的な維持管理・更新】

- ◇インフラ長寿命化計画の策定と戦略的な維持管理・更新

- ◇自治体への技術支援

【観光振興への支援】

- ◇社会資本の整備・管理を通じた観光振興への支援

- ◇インフラツーリズム

【公共事業の円滑な施工確保】

- ◇公共工事における不調・不落への対応

- ◇技術者・技能労働者等の高齢化と若年入職者の減少への対応

▽ ▽

引き続き、宝塚ボーイス監督の奥村幸治様を講師に「一流の習慣術～イチロー・マー君が実践する自分の力の育て方」と題した講演が行われました。奥村様は「確実に結果を出すイチロー、マー君の原点には一流になるための習慣づけ」があるとし、その考え方、行動などを紹介しました。

4団体協議会を開催

「社保未加入問題」「人手不足問題」で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合（理事長玉川義光氏）、近畿ダクト工事業協同組合（理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（会長細見義征氏）で構成する4団体協議会の第16回会合が7月28日に、第17回会合が11月25日にそれぞれ当協会事務局会議室で開かれ、主要議題として建設業界の「社会保険加入対策」、「建設労働者の不足状況」で意見・情報交換しました。

16回会合には11名が出席。社会保険問題については、最初に、「平成26年8月から国土交通省発注直轄工事では一次下請に保険未加入業者を禁止し、未加入が発覚した場合は元請と一次下請が契約した最終金額に対して10%の制裁金を徴収。また、一定期間の指名停止、工事成績点の減点などが行われることとなり、具体的措置は今後国土省が運用指針を決めて実施する」ことが報告されました。

法定福利費を別枠明示した『標準見積書』の活用状況については、「サブコン側は標準見積書を採用しているが、法定福利費の具体的率は下請ま

かせで、その標準見積書で価格交渉を行っているため、実際に法定福利費分が上乘せされているかの検証はできない」などの状況が報告されました。また、「サブコンはゼネコンに対して標準見積書を提出しているが、下請に対して標準見積書の様子を指定して見積もりを出させることはしていない。下請によって、法定福利費を明記したもの、明記していないものどちらも出ているので、しばらく様子見をしている」などが報告される一方で、「標準見積書を使っているのはサブコンの一部ではないか。法定福利費に関係なく工事費が決まっているのが実態である」などの報告もあり、標準見積書の扱いはサブコンによってかなりの温度差があることがわかりました。

技能者の不足問題では、「技能者の不足だけでなく、技術者も足りない。関東、東北へ技能者、技術者が移動していることが影響しているともいえる」、「ゼネコンでは型枠工、鉄筋工、内装工が極端に不足しているようだ。結果として工程に遅れが生じ、そのしわ寄せが設備工事にきている」

などの見方が示されました。このほか、「技能者は高齢化し、若者が入ってこない」、「技能者の不足により、賃金も高騰し始めている」などが報告されました。

また、「結局賃金が問題となる。コンビニ店員と給料が変わらないようでは入職する人はいない」、「若



第16回会合



第17回会合

手を入れるには賃金アップが大事だ。しかし、いずれまた仕事が減ることを考えると採用拡大に踏み切るにはリスクが大きい」、「賃金だけで技能者が集まるだろうか。また、土日休みにしたら入職する人が出てくるともいえない」とする意見もあって、人材確保はきわめて難しい局面にあることが示されました。これに関連して、「工業系、設備系高校がどんどん減ってきて問題だが、その中でもインターンシップ制度を活用して入職を促すのは大事である」という意見もありました。

第17回会合には9名が出席。保険未加入問題(国交省の対応策)については、見積標準書式と積算基準改定により、平成27年4月から法定福利費の明確化が進展する見通しであることが報告されました。国交省では、法定福利費の明確化を図るため共通積算基準を改定し現場管理費の一部として計上する法定福利費の内容を明示し、社会保険未加入対策の徹底につなげるとしています。

情報・意見交換の中では「見積書を提出し価格を決定した際、法定福利費を切られたのか、どこを切られたのかわからない。結局法定福利費が確保されたかどうかかわからない。そこで、価格決定後、出される注文書に法定福利費を明示するよう要望したい」とする意見が出されました。

現場における技能者の不足問題については「大層不足が現場の工程に大きな影響を及ぼしてい

る。建築の鉄筋、型枠工、内装工が不足し、とくに、設備工事は、内装工(軽鉄下地)の現場施工に振り回されるという状況が起きている」という現状が報告されました。技能者の賃金については「賃金は上昇しているとはいえない。ただし、技能者の不足により、応援を求める職人の日当が上昇しているのに加え、常雇いの職人の休日出勤、残業が多くなって結果人件費が増大している。いずれも工期のしわ寄せから生じている」という状況が示されました。

若手技能者の育成については、ダクト団体から「工科高校に対してダクト技術の出前講座を行い、『ダクトとは何か』と題して座学やダクト取り付け作業を実施した。今後も講座のカリキュラムをどうするかについて検討を行っていく。効果があると確信している」との報告がありました。また、同団体は、鉄筋業界とともに、ビデオなどを使い、大阪市内の体育館で高校生に対する合同説明会を開催したことを明らかにしました。

なお、ダクト技能士資格の主任技術者要件について、「国交省省令が改正され、建築板金技能士(ダクト板金作業)は建設業法上の管工事業において工事現場などの主任技術者となることができることになった」との報告がありました。2級合格者の実務経験要件は3年となり、平成27年4月1日実施されます。

第 41 回野球大会

ダイダン(株)大阪本社が 5 年ぶり優勝

優 勝	ダイダン(株)大阪本社	準優勝	斎久工業(株)大阪支社
第 3 位	川崎設備工業(株)西部支社	第 4 位	新菱冷熱工業(株)大阪支社

最優秀選手賞 湯浅 利基選手 (ダイダン(株)大阪本社)
敢 闘 賞 緒方 智大選手 (斎久工業(株)大阪支社)

第 41 回野球大会は、平成 26 年 10 月 15 日、16 日、17 日の 3 日間にわたり、舞洲運動広場で開催されました。17 チームでの熱戦が繰り広げられた結果、ダイダン(株)大阪本社が 5 年ぶり 3 回目の優勝を遂げました。

開会式で、太田隆会長は「この野球大会は当協会の重要行事と位置付けております。有意義な大会となりますよう願っています」と挨拶されました。

三建設備工業(株)大阪支店の村上 亘選手が「全力を出し切ることを誓います」と選手宣誓の後、白熱した試合が続きました。

17 日の閉会式では、中尾理事より優勝を遂げたダイダン(株)大阪本社チームへ優勝旗と表彰状が授与され、続いて 2 位・3 位・4 位のチームへカップなどの授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社・中野隆久取締役関西支社長から優勝・準優勝チームへ盾の授与が行われました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



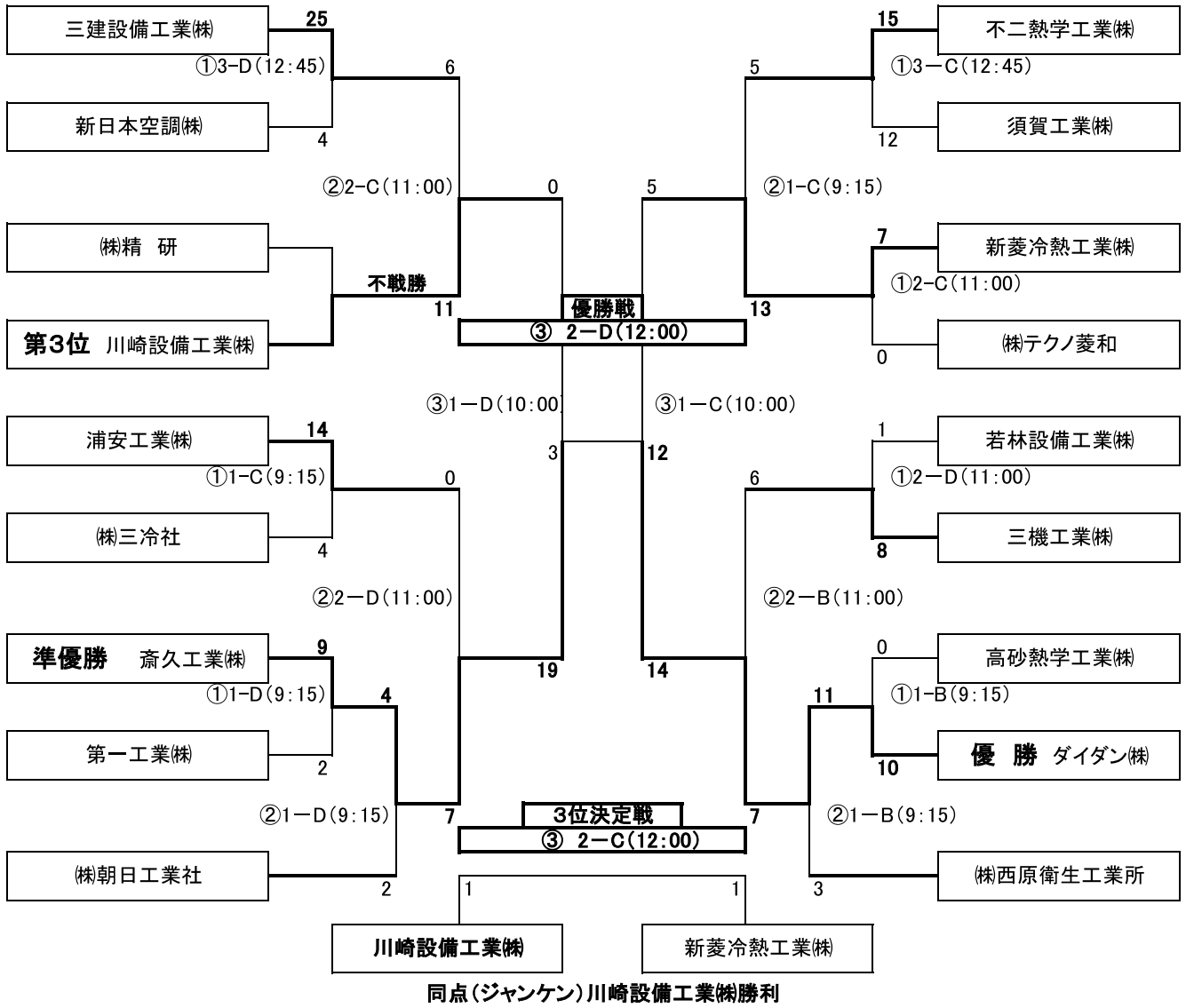
力強く選手宣誓





5年ぶりに優勝を遂げたダイダン(株)大阪本社チーム

第41回野球大会組合せ表





準優勝の斎久工業(株)大阪支社チーム



第3位の川崎設備工業(株)西部支社チーム



中尾理事(右)からトロフィーを受ける最優秀選手賞・湯浅さん



中尾理事(右)からトロフィーを受ける敢闘賞・緒方さん

観戦記 決勝戦

ダイダン(株) VS 斎久工業(株)

(株)西原衛生工業所 七篠 茂樹

決勝戦は、これまでの4試合を9-2、4-2、7-0、19-0、3コールド勝ちで、39得点の強力打線もさることながら、エース神藤の好投、女房役岩室の好リード、野手の好守でわずか4失点、昨年準優勝の斎久工業と、10-0、11-3、7-6、14-5、3コールド勝ちと42得点の強力打線を率い、安藤、中本の投手2枚看板で2勝ずつを挙げ14失点、投手に負担をかけずに決勝まで勝ち進んできたダイダンの対戦となった。

両チームの先発バッテリーは、斎久工業が神藤-岩室、ダイダンが安藤-中本となり、さすが決勝戦に勝ち進むチームのバッテリー、両投手とも制球が良く、球威があり、両捕手とも強肩です。

ダイダンの先攻で決勝戦がプレーボール。

1回表、ダイダンの攻撃、立ち上がり、先頭1番湯浅が四球を選び、すかさず2盗、内野ゴロで3塁まで進め、4番主砲大久保がレフト前にタイムリーヒットを放ち1点先制。(1-0)

2回裏、斎久工業の反撃、初回にいい立ち上がりを見せたダイダン先発安藤を捕まえる。先頭4番岩室がレフト前ヒットで出塁、死球で無死1.2塁となり、1死後7番島尻のライト前タイムリーヒットで同点に追いつく。(1-1)

3回表、追いつかれたダイダンがすぐにビッグイニングを作る。

先頭2番中本がレフト前ヒットで出塁、3番山賀がレフト前にヒットエンドランを決め、無死1.2塁後、失策で無死満塁となり、2者が倒れたが、7番安藤が四球を選び押し出しで均衡を破ると8番岡本に2点タイムリー、1番湯浅に走者一掃のタイムリーが飛び出し、一挙8点を獲得。(9-1)

3回裏、斎久工業打線も黙っていない、すぐに反撃。



優勝旗授与

エラーで出塁したランナーを2番稲本がタイムリー2塁打で1点を返す。(9-2)

4回裏、斎久工業がさらに反撃。

先頭5番緒方がヒットで出塁、7番島尻もヒットで続き、エラーで1点を返し、更に2死2.3塁の場面で当たっている左の強打者1番小田原がバッテリーボックスを迎える。

反撃ムードが漂う中、ダイダンの高橋監督がベンチを飛び出し、ライト守備固めと守備位置を深くするよう指示が出た。

小田原が放った打球はライト後方へ大きな放物線を描いた。打球は、監督の指示でかなり深い守備位置を取ったライト長元の更に後方へ飛んだが、バックしてグラブにおさめ、監督の神業的な采配が見事に的中、反撃ムードの流れを断ち切った。(9-3)

斎久工業神藤投手は4.5.6回をほぼ完璧に抑える。

ダイダン安藤投手も5.6回をピシャリと抑える。

静かな流れを破ったのはダイダン7回表の攻撃。先頭8番岡本にホームランが飛び出し、失策等でこの回3点を追加(12-3)

最終回7回裏、斎久工業の攻撃、先頭打者をヒットで出すもダイダン安藤投手が後続を抑え、12-3で試合終了。

大会開催は、初日が雨天順延となり、スケジュール調整がたいへんだったと思いますが、選手の皆様、ほんとうにお疲れ様でした。

決勝戦は、守備が固く、四死球も少ない、これぞ決勝戦という締まった試合でした。

MVPは、1番打者として決勝戦で3打点と打線を引っ張り、守備でも三塁を堅守したダイダン湯浅さん、敢闘賞は決勝戦で2打数2安打1死球と活躍した斎久工業緒方さんが選ばれました。

おめでとうございます。



準優勝カップ授与

観戦記 3位決定戦

川崎設備工業(株) VS 新菱冷熱工業(株)

三機工業(株) 建部 浩文

川崎設備工業と新菱冷熱工業の3位決定戦です。川崎設備工業 高谷投手、新菱冷熱工業 玉井投手の投げあい試合開始です。

両投手共、テンポ良い投球で打者を打ち取ります。また両チーム共、バックの守備も素晴らしく、堅実な守備で引き締まった試合展開となります。4回表までゼロ行進となりました。

試合が動いたのは4回ウラの新菱冷熱工業の攻撃です。先頭バッターが四球で出塁すると、1アウト2塁3塁のチャンスを作り、セカンドゴロの間に1点を先制しました。

川崎設備工業はその後、6回表に高谷選手の2ベースヒットから2アウト3塁とチャンスを作り、岡野選手のセンター前ヒットで同点に追いつきます。

試合はそのまま7回終了し、ゲームセット。勝敗は両チーム9対9のジャンケン対決となりました。

ジャンケン対決も試合同様、互角の勝負となり、結果5勝4敗で川崎設備工業の勝利となりました。

▽

スコア

	1	2	3	4	5	6	7	計
川崎	0	0	0	0	0	1	0	1
新菱	0	0	0	1	0	0	0	1

ジャンケン対決

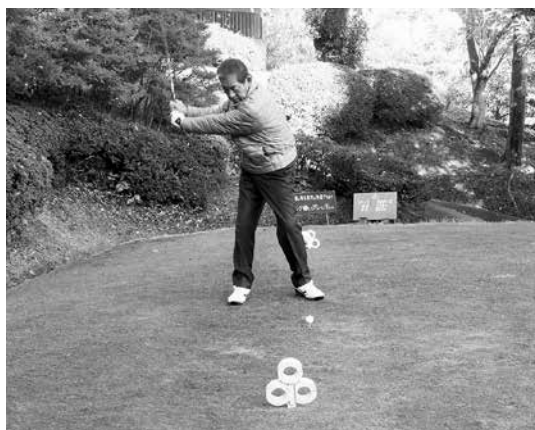
川崎	×	○	×	○	×	○	×	○	○	5勝
新菱	○	×	○	×	○	×	○	×	×	4勝

両チーム共、ミスらしいミスもなく、ロースコアの大変見ごたえのある試合となりました。最後はわずかに気迫で上回った川崎設備工業がジャンケン対決を制し3位に。新菱冷熱工業が4位という結果になりました。選手の皆さん、お疲れ様でした。



第3位表彰

平成 26 年度大空会ゴルフ大会開催 前田氏が優勝



近藤副会長による始球式



近藤副会長から優勝カップを受ける前田様（左）

平成 26 年 11 月 21 日（金）に、奈良県の飛鳥カンツリー倶楽部で、39 名が参加して、恒例の第 10 回大空会ゴルフ大会が開催されました。

当日は好天に恵まれ、熱戦が繰り広げられました。試合結果は次のとおりです。

§ 試合結果 §（敬称略）

- ◇優勝 前田 典宏（浦安工業株大阪支店）
- ◇準優勝 坂井 靖和（主計管工株）
- ◇第 3 位 入江 啓一（日本メックス株関西支店）
- ◇ベストグロ賞 坂井 靖和（アウト 38 イン 35 グロス 73）



表彰式を兼ねた食事会で和やかに歓談

平成26年度ボウリング大会

団体戦で(株)日設関西支店チーム優勝

恒例のボウリング大会が平成26年11月26日(水)に桜橋ボウルで開催されました。今回は15チームでの戦い(2ゲーム)となり、団体戦(チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点のボーナス点加算)は、(株)日設関西支店が見事優勝しました。

個人戦(女子ボーナス点加算)では、竹内意人様(川崎設備工業(株)西部支社)が優勝しました。

§ 試合結果 § (敬称略)

◇団体戦

優勝	(株)日設関西支店	957ピン
準優勝	川崎設備工業(株)西部支社	949ピン
第3位	大成温調(株)大阪支店	940ピン

◇個人戦

優勝	竹内意人(川崎設備工業(株)西部支社)	365ピン
準優勝	岡本 茂(株)精 研	359ピン
第3位	三野真弘(第一工業(株)大阪支店)	353ピン

◇ハイゲーム賞

男性	北川朝史(株)西原衛生工業所大阪本店	204ピン
女性	伊澤 茜(鳳工業(株))	162ピン



優勝・(株)日設関西支店チーム



準優勝・川崎設備工業(株)西部支社チーム



挨拶する前田理事



第3位・大成温調(株)大阪支店チーム



清王専務理事(左)から優勝トロフィー授与

告知板

賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額 4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入
(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

募金活動で日赤から 「金色有功章」受賞

会員・賛助会員の皆様からご支援いただいております当協会の募金活動が評価され、日本赤十字社から「金色有功章」が授与されました。

平成26年11月19日(水)、NHK大阪ホールにて開催された平成26年度大阪府赤十字大会で表彰盾が授与され、当協会経営委員長・塩谷眞富理事(ダイダン(株)大阪本社)が代表して同章を受領しました。



日赤から授与された金色有功章

今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
2月19日(木)	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪
4月2日(木) 3日(金)	新入社員研修	電設健保センター
5月18日(月)	当協会第42回定時総会	リーガロイヤルホテル大阪

平成 27 年度

初級技術者のための 基礎知識研修会受講ガイド

主催 公益社団法人 空気調和・衛生工学会近畿支部

協賛 一般社団法人 建築設備技術者協会近畿支部〈予定〉

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

一般社団法人 電気設備学会関西支部〈予定〉

開催日 平成 27 年 5 月 11 日（月）～ 5 月 15 日（金）

場所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）5 階 視聴覚室

大阪市中央区北浜東 3-14 （TEL:06-6942-0001）

定員 70 名（申込み順で、定員になり次第締め切ります）

受講料 1) 全講座・受講 （会員）30,000 円 （非会員）40,000 円

2) 空調・受講／給排水・受講 （会員）20,000 円 （非会員）25,000 円

※当協会より受講申し込みの場合は会員価格となります。

いずれもテキスト代を含みます。なお、テキストは受講を前提にしてお渡ししていますので、テキストのみの販売は行っていません。

テキスト パート毎に担当講師作成の資料を受講者に当日お渡しします。

受講内容には計算を伴う演習がありますので電卓を用意してください。

申込締切 平成 27 年 4 月 24 日（金）

申込方法 下記の事務局までメールにてお申し込みください。

受講料のお支払いは銀行振込でお願いします。銀行振込先は次の通りです。

振込手数料は、申込者にてご負担下さい。

振込先：三井住友銀行 備後町支店 普通預金 0111689

公益社団法人 空気調和・衛生工学会

振り込み確認後、受講票及び会場案内を郵送でお送りいたします。

受講料は払戻しいたしませんので、当日参加できない場合は代理参加も可能です。

詳細は、下記の工業協会事務局まで お問い合わせください。

申込先 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-6-14

朝日生命辰野ビル 2 階

電話 06-6271-0175 FAX 06-6271-0177

Email : inoue-a@tenor.ocn.ne.jp

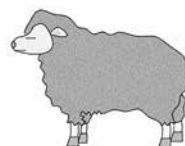
基礎知識研修会カリキュラム

区分	日程	時間	題目
共通	5月11日(月)	9:30～11:00	建築設備の知識
		11:10～12:30	電気の知識
		13:30～15:30	設備図面の知識
		15:40～17:40	施工と安全管理
給排水	5月12日(火)	9:30～12:30	給水・給湯設備
		13:30～15:30	衛生器具設備
		15:40～17:40	消火設備
	5月13日(水)	9:30～12:30	排水・通気設備
		13:30～15:30	排水処理設備
		15:40～17:40	配管と材料
空調	5月14日(木)	9:30～11:00	室内環境
		11:10～12:30	空調負荷
		13:30～15:00	
		15:10～18:00	空調・換気設備
	5月15日(金)	9:30～12:30	湿り空気線図
		13:30～16:00	熱源設備
16:10～17:40		排煙設備	

受講の組合せは下記の通りとなっています。各コースから一つを選んで下さい。

受講コース名称	共通 (5月11日)	給排水 (5月12・13日)	空調 (5月14・15日)
全講座	○	○	○
給排水	○	○	×
空調	○	×	○

2015年



迎 春

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (82社)

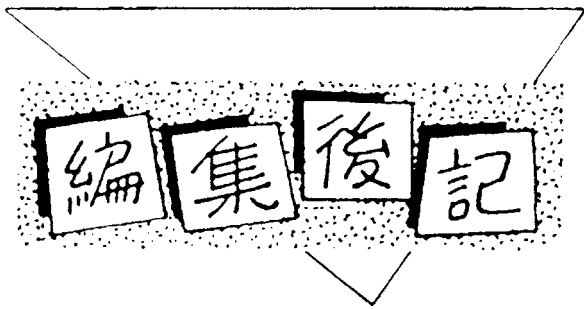
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	稲田 稔	島設備工業(株)	井上 暎夫
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)上杉工業	上杉 邦雄	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
浦安工業(株)大阪支店	屋敷 直幸	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
(株)江坂設備工業	中村 昭一	新日本空調(株)大阪支店	伊藤 雅基
エルゴテック(株)大阪支店	横山 順二	新菱冷熱工業(株)大阪支社	菅家 誠司
オーディーエー(株)	織田 守彦	須賀工業(株)大阪支社	森内 啓治
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	(株)精研	笹川 政美
鳳工業(株)	堀部 泰三	第一工業(株)大阪支店	菅原 英俊
奥田商工(株)	奥田 孝子	第一設備工業(株)大阪支店	祝出 富弥
影近設備工業(株)大阪支店	大前 浩志	(株)大気社大阪支社	向井 浩
川崎設備工業(株)西部支社	番 清彦	大貴設備(株)	田窪大五郎
川本工業(株)大阪支店	近藤 順	(株)ダイキンアプライドシステムズ大阪支店	黒川 淳一郎
木村工業(株)	木村 之彦	ダイクウ(株)	中村 淳一
協伸工業(株)	森岡 晟	大晃設備(株)	樋上 雅一
(株)共進社工業所	山内 昇平	大成温調(株)大阪支店	中井 俊英
享和設備(株)	竹本 和正	大成設備(株)近畿支店	正木 博己
クウケン(株)	泉岡 重照	ダイダン(株)大阪本社	太田 隆
九櫻設備工業(株)	高安惣二郎	大熱工業(株)	藪本 繁明
(株)クドウエンジニアリング	古川 國一	(株)大和商會	玉置 哲也
五建工業(株)大阪支店	安田 実	高砂熱学工業(株)大阪支店	田渕 潤
斎久工業(株)大阪支社	高島 龍訓	(株)タカネツ	高木 徳康
財馬冷熱工業(株)	財馬 利幸	田丸産業(株)	堀田 高志
三機工業(株)関西支社	白木 博之	(株)テクノ菱和大阪支店	若村 恒夫
三建設備工業(株)大阪支店	田辺 宣孝	東洋工業(株)	谷本賢太郎
(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫	東洋熱工業(株)大阪支店	白石 文登
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	西川設備工業(株)	益本 光明
三宝電機(株)	前阪 利夫	(株)錦	三分一 誠
(株)三冷社西日本支社	生島 清好	(株)西原衛生工業所大阪本店	澤田 憲治
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	日建設備工業(株)	三井 正雄
敷島煖房工業(株)	松本 光庸	(株)日設関西支店	前田 暁
四國機械設備(株)	曾我 幸二	日本管工業(株)大阪営業所	並田 和明

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	杉本 卓	(株) 北 祥	澤村 幸雄
日本メックス(株)関西支店	二村 洋一	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
(株) 伯 太 工 業 所	藤井 康彰	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)大阪支店	下田 敬介	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 哲規	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 徹	山 田 工 業 (株)	中道 保信
富士古河E&C(株)関西支社	高谷 政美	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 尚史

賛 助 会 員

(60社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器株式会社大阪支店	加藤 淳一	株 式 会 社 大 和	向井 勉
アズビル株式会社ビルシステムカンパニー関西支社	田村 春夫	高 井 水 栓 株 式 会 社	高井 徹
安 藤 株 式 会 社	安藤 康雄	タ カ ラ 通 商 株 式 会 社	三上 幸男
イシグロ株式会社関西ブロック	浅利 政史	株 式 会 社 多 久 製 作 所 大 阪 支 店	山本 泰三
因幡電機産業株式会社	藤田 順三	株 式 会 社 タ ブ チ	小西 伸二
井下機器株式会社大阪支店	川口 達也	株 式 会 社 テ ク ノ フ レ ッ ク ス 大 阪 営 業 部	青山 昭
英 和 商 工 株 式 会 社	尾名 隆司	株 式 会 社 電 巧 社 大 阪 営 業 所	梅田 正幸
荏原実業株式会社大阪支社	蛭田 功	東 テ ク 株 式 会 社 大 阪 支 店	小山 馨
株式会社荏原製作所西大阪支店	管野 善幸	T O T O 株 式 会 社 特 販 本 部	小山田誠太郎
株 式 会 社 オ ー ケ ー エ ム	岡崎 洋	T O T O 関 西 販 売 株 式 会 社	山田 悌男
オ ー ケ ー 器 材 株 式 会 社	山田 進一	東 洋 パ ル ヴ 株 式 会 社 大 阪 営 業 所	小吹 雅則
株式会社カナデン関西支社	平木 仁	株 式 会 社 ニ シ テ ッ ク ビ ル シ ス テ ム 事 業 部	米田 敏幸
川重冷熱工業株式会社西日本支社	島田 洋一	ニ ッ ケ イ 株 式 会 社 大 阪 営 業 所	田中 広
株式会社川南ファシリティズ	小南 長門	日 製 電 機 株 式 会 社	桂井 善章
株式会社川本製作所大阪支店	松尾 吉実	ニ ッ タ 株 式 会 社 ク リ ー ン エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業 部	國枝 信孝
北九州空調株式会社大阪営業所	渡邊 定男	日 本 電 技 株 式 会 社 大 阪 支 店	大友 春久
木村工機株式会社大阪営業本部	登尾 公彦	日 本 水 処 理 工 業 株 式 会 社	川西 昌史
協立エアテック株式会社大阪支店	西 勇次	株 式 会 社 日 阪 製 作 所	中村 淳一
空研工業株式会社大阪支店	山本 義信	日 比 谷 通 商 株 式 会 社 大 阪 支 店	八幡 泰仲
株 式 会 社 古 島 大 阪 支 店	藤井 良夫	株 式 会 社 扶 洋	仲井 修二
株式会社コスタコーポレーション	逸見 克孝	株 式 会 社 ベ ル ノ テ ク ノ 大 阪 支 店	松尾 英樹
三和鋼管株式会社大阪営業所	藤井 洋央	北 勢 工 業 株 式 会 社	北山 秀晴
ジョンソンコントロールズ株式会社	ト部 学	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 株 式 会 社 関 西 支 社	吉田 和彦
新晃工業株式会社大阪支社	宮地 祥一	森 松 工 業 株 式 会 社 大 阪 支 店	齋木 慎嗣
新 日 本 美 風 株 式 会 社	植松 俊行	株 式 会 社 大 和 バ ル ブ 大 阪 支 店	湯浅 雅宏
シンワ工業株式会社大阪営業所	中村 博史	ヤ マ ト ヲ 産 業 株 式 会 社	豊嶋 貴嗣
住友商事マシネックス株式会社	浜谷与志久	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 株 式 会 社 大 阪 支 社	齊藤 信雄
ゼ ン シ ン 株 式 会 社	吉田 晃	株 式 会 社 ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	川口 寛
株式会社ダイキアクシス大阪支社	馬場 一弘	株 式 会 社 L I X I L 関 西 支 社 ビ ル 関 西 支 店	中島 雅司
タイヨージョイント株式会社大阪営業所	佐々木 徹	菱 電 商 事 株 式 会 社 関 西 支 社	吉田 智昭



日本経済は、消費税増税の影響でややかげりが見られるものの、ゆるやかな回復基調にあり公共投資、民間の設備投資も堅調に推移してきました。

一方で、労務費の高騰、人手不足という課題が顕在化し、工期が遅れるという深刻な状況が発生しております。

このような事態を受けて、昨年担い手三法といわれる品確法、入契法、建設業法が改正されました。品確法については、昨年9月に基本方針が閣議決定されております。その内容は、発注者の責務として

○担い手育成・確保のための適正な利潤が確保できるような予定価格の適正な設定等が定められています。

また、受注者の責務として

○受注者による技術者、技能労働者等の育成・確保や賃金、安全衛生等の労働環境の改善等が適切に行われること等が定められています。

いずれも、深刻な人材不足を解決するための内容で、発注者、受注者双方に求める異例の内容となっています。

人手不足の解消は一朝一夕にはできません。熟練技能工の地道な育成と、若手の入職者を増加させる粘り強い対応が求められています。

当協会でも、熟練技能者、後継者の育成に寄与することを目的に、配管技能コンテストを実施しており、昨年で6回目の開催となりました。

コンテスト一般の部では1級技能士の配管工が毎年20名程参加されますが、優勝、準優勝を

含めて順位差は配管作品指定寸法十数か所の合計誤差が限りなくゼロに近いという僅差の勝負となっています。見事な職人の腕前に感服するばかりです。

また、高校の部でも、作品精度は年々正確さを増しており、高校生へご指導くださっている各高校の先生方の熱意の賜物と深く感謝申し上げます。

特に滋賀県立彦根工業高校からの生徒参加については、滋賀県空調衛生設備工業協会から技術指導、練習資材の提供と全面的に支えていただきコンテスト当日もご出席いただき感謝申し上げます。

配管技能コンテストの先に見据えておりました技能五輪全国大会への参加も、大阪府立布施工科高校の先生方のご指導により、平成24年に同校卒業生が1名出場（大阪からの出場は5年ぶり）、平成25年には同校3年生が2名出場、現役高校生の出場は大阪初という快挙でした。続けて平成26年には、同校3年生が3名、うち女子高生が1名初出場と着実に前進してまいりました。

平成26年度出場の3名は、東大阪市長を表敬訪問し、その健闘を大いに宣揚していただきました。

今後、配管技能コンテストを更に充実させ、大阪府立布施工科高校、大阪府立東住吉総合高校、滋賀県立彦根工業高校の先生方と連携をしっかりと保ち、熟練技能工、若手後継者の育成に寄与してまいります。

(M.S)

大空衛 第76号

平成27年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目6番14号

朝日生命辰野ビル2階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社

